

情報通信審議会 情報通信技術分科会 電波利用環境委員会
CISPR A 作業班（第 5 回）議事要旨（案）

- 1 開催日時：平成 25 年 11 月 22 日（金） 15 時 00 分～16 時 50 分
- 2 開催場所：金融庁（中央合同庁舎第 7 号館） 13 階 1320 会議室
- 3 出席者（順不同）

【構成員】篠塚主任 (NICT)、田島主任代理 (NTT-AT)、雨宮構成員 (NTT-AT)、石上構成員 (NICT)、石田構成員 (ARIB)、黒沼構成員 (協立電子工業)、垂澤構成員 (NTT ドコモ)、中嶋構成員 (JQA)、益田構成員 (JET)、三塚構成員 (TELEC)、宮田構成員 (JEITA)

【事務局】総務省：黒田電磁障害係長、寺田官

4 議事概要

- (1) 事務局から配付資料の確認が行われた。
- (2) 資料 5—1 前回議事要旨案について、確認が行われた。その場で修正意見がだされたため、後日事務局の方から改めて修正版の議事録を A 作業班メーリングリストで照会することとなった。
- (3) CISPR オタワ会議の SC/A Plenary、SC/A WG1、SC/A WG2 の審議結果について、篠塚主任から報告された。その場で、修正意見が出されたため、後日修正意見を反映し、審議結果を A 作業班メーリングリストで照会することとなった。
また、以下 1 点について質疑応答が行われた。
 - ・ Schaefer より出された議論 (non invasive 測定における電流測定の不確かさについて) は、I 小委員会でもなされたのか？ (田島主任代理)
 - I 小委員会では、議論されなかった。(雨宮構成員)
- (4) 現在、国内作業班で審議中・回答作成中の CISPR 文書について、石上構成員・雨宮構成員から、状況報告がなされた。

<CISPR/A/1049/FDIS>

- ・ 本 FDIS は、CDNE 測定法の不確かさの CISPR 16-4-2 への追加修正に対する最終国際規格案である。CDNE 法そのものは、反対で提案はしたが、導入されるのであれば、「不確かさ」をきちんと考えないといけない。正しい不確かさを入れるために、賛成で投票せざるを得ない。現在 A 作業班内でメール審議中であるが、意見があれば提出していただきたい。(石上構成員)

<CISPR/A/1050/DTR>

- ・本 DTR は、CISPR/TR 16-4-5 の代替試験法の修正案、CDNE 法の変換係数を追加したものである。CD 文書から、基本的にはエディトリアルな部分しか変わっていない。1stCD, 2nd CD で我が国から提出したコメントは受け入れられている。現在、本 DTR に対する回答を、A 作業班のメーリングリストで審議しており、審議表は賛成と作成したが、何かご意見があれば、ご教示願いたい（石上構成員）
- ・NTT の菅野氏のデータをもとに、変換係数は、技術的に解決されておらず、議論が不十分である旨をコメントすることも考えられる。（篠塚主任）
- NTT の菅野氏は、A 作業班の構成員ではないが、データを示していただき、それを A 作業班構成員に提供できるように手配することとなった。

<CISPR/A/1051/FDIS>

- ・本 FDIS は、CISPR 16-1-2 伝導妨害波測定器の改版で、そこに CDNE を盛り込むものである。電源線に 30 MHz 以上の妨害波が出ないこと前提に作られているが、実際測定すると、スイッチング周波数の高調波は 30 MHz 以上でている。その存在がないことを前提に CDNE がつくられている。対応としては、GDV の時とほぼ同じコメントを出す予定であり、投票としては「反対」で対応する。（雨宮構成員）
- ・22 シリーズから 16 シリーズに移すという意見については、日本は反対していないが、本 FDIS にその点も含まれているのなら、過去に賛成した部分を含めて反対してしまうことになるが如何。（篠塚主任）
- 仮に、現時点で移設が否決されても、実行上問題ないと考えている。（雨宮構成員）

(5) 12月の電波利用環境委員会で報告予定の CISPR16 アドホックグループの進捗状況について、アドホックグループリーダーの石上構成員より報告がなされた。

- ・資料 5-5 「CISPR 16 答申作業状況」について、「2015 年末を目処に答申(案)をまとめることを方針とする」とあるが、これは、1 回目の答申を 2014 年末までに行い、2 回目の答申を 2015 年末までに行うというスケジュールで行われることが口頭で補足された。

(6) その他

- ・本作業班の議論を踏まえた資料の修正期限は、本日から 1 週間までを目途に事務局宛に送付することとなった。
- ・12月の電波利用環境委員会で、CISPR 16 国内答申作業の進捗状況を石上構成員から

報告し、1月の電波利用環境委員会で、CISPR オタワ会議の審議結果について、篠塚主任から報告する旨を事務局からお知らせした。